

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (Human Frontier Science Program)



日本がヴェネチア・サミットで提唱し創設された 国際ファンディング・プログラム



・ 拠出金の拠出
・ 運営に対する意見

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構(HFSP)
 (理事長：長田 重一 大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授)
 日本国理事：三島 良直 国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長

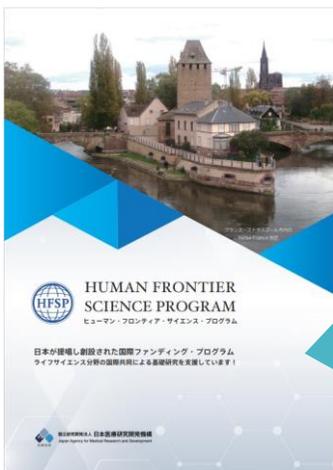
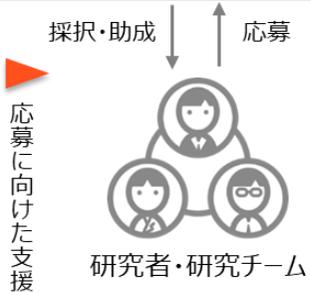
HFSP 生体の持つ複雑なメカニズムの解明のための基礎研究
 「国際的」、「学際的」、「若手」を重視

- 研究グラント 国際共同研究チームへの研究費助成
- フェローシップ 若手研究者が国外で研究を行うための旅費・滞在費等の助成

▲ AMEDを通じ、文科省・経産省が参画。

日本の推進体制

➢ HFSPへの拠出金拠出
 ➢ 日本人研究者の応募に向けた助言・サポート
 ➢ 産業界との連携による実用化に向けた支援

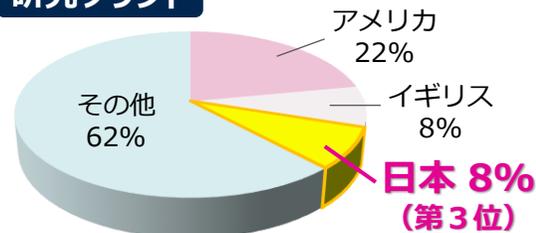


日本語版
パンフレットは
こちら！

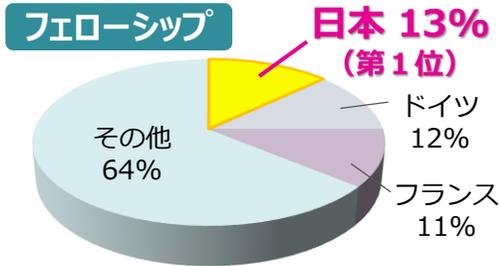


日本人研究者 受賞割合 (1990-2021)

研究グラント



フェローシップ



歴代の日本人研究者も多数受賞
しかし近年、応募者数・受賞者数ともに低迷

世界的に高く評価されるHFSPの受賞者・研究成果

- **HFSPの支援を受けた研究者が獲得した賞**
 - ノーベル賞：29名
 - ラスカ賞※1：11名
 - 生命科学ブレークスルー賞※2：13名
 - カナダ・ガードナー国際賞※3：11名
 - カヴリ賞※4：13名
- (※1) 医学の研究において優れた功績があった人物に与えられる学術賞
 (※2) 米グーグルの創業者らによって創設された、生命科学を始めとする3部門から構成される賞
 (※3) カナダのガードナー財団より、医学に対して顕著な発見や貢献を行った者に与えられる学術賞
 (※4) カヴリ財団によって設立された、神経科学を始めとする3部門から構成される科学技術の賞

- **HFSP関連論文に関する指標**
 - HFSPの論文は、
 - 世界平均の2倍の頻度で引用
 - 全体の25%は、Top10%補正論文に該当
 - 全体の9.6%は、特許に引用

※生命科学の世界シェア(3.6%)を大きく上回る
 (出典) Science-Matrix Review of the Human Frontier Science Program Final report (2018年10月30日)

プログラム

研究 Grant

異なる国、異なる研究分野の組み合わせによる
国際共同研究チームを支援

- 支援期間は3年間
- Grantは2種類

● プログラム Grant

2カ国以上の独立した研究者（通例2~4名程度）からなる国際的共同研究チームが対象。研究チームを構成する研究者のキャリア段階は不問。

● 若手研究者 Grant

プログラム・Grantと同様のチーム構成で、メンバー全員が独立的ポストを得て5年以内、かつ、博士号取得後10年以内の研究者により構成される研究チームが対象。

助成額
最大合計 **150** 万ドル

申請 予備データ・
出口戦略不要

フェローシップ

若手研究者が、国外の優れた研究室における研究活動を経て一流の研究者になることを支援

- 支援期間は3年間
- 受入研究機関は出身国以外
- Grantは2種類

● 長期フェローシップ

生命科学分野で博士号を取後3年以内で、博士課程またはポストドク研究分野とは異なる研究領域へ幅を広げる研究活動を国外の研究室で行いたい研究者を支援。

● 学際的フェローシップ

生命科学以外の分野（例えば、物理学・化学・数学・工学・コンピュータサイエンス）で博士号を取得し、生命科学に関連する研究を国外で始めたい研究者が対象。

助成額
3年間合計

※（一例）米国に所在する場合

生活手当 18 万ドル
研究費及び旅費手当 2.2 万ドル

さらに状況に応じて

児童手当 1.8 万ドル
引越手当 2.5 千ドル
等

応募方法

研究 Grant（プログラム Grant/若手研究者 Grant）、フェローシップ（長期フェローシップ/学際的フェローシップ）ともオンライン方式（Proposal Central）を通じた2段階の申請手続きを行います

研究 Grant

3月頃
提出締切

一次審査

研究概要申請書 Letter of Intent A4で2~3枚程度の英文

9月中旬頃
提出締切

二次審査

詳細申請 Full Application 一次審査通過者のみ

翌年3月頃
受賞者へ通知

受賞発表

Grant支給

受賞を逃した二次審査通過者に対しては、その理由や改善点のアドバイスなどの審査結果がフィードバック

フェローシップ

5月中旬頃
提出締切

申請の手引き
はこちら

9月下旬頃
提出締切

翌年3月頃
受賞者へ通知

